



# Jodo Mission of Hawaii Bulletin - June 2022

ハワイ浄土宗別院寺報(ブルテン日本語版)

ハワイ州ホノルル市マキキ街1429

6月号

電話番号: (808) 949-3995

003-0622



## 父の日法要～ハッピー・ファザーズ・デー!

2022年6月19日(日) 午前10時～

英語礼拝・NHK歴史探偵の上映会

於) ハワイ浄土宗別院

## ミニ・バザー 於) 別院憩いホール

2022年6月26日 午前8時～正午まで

## 永代経法要: 毎朝9時30分より

(\*\*都合により時間を変更することがありますので、  
参列される場合は、事前にお電話下さい)

## 納骨堂・寺務所オフィスアワー:

午前10時～午後5時まで(月～土)

午前10時～午後3時まで(日・祭日)

## 寺務所: (808) 949-3995

日曜礼拝: 毎週日曜日午前10時より

Kosen Ishikawa's YouTube Channel よりライブ配信

## 浄土宗カレンダーより今月のことば

**称(とな)えるうちに雲晴れて** 心の底から極楽

浄土への往生を願い、お念仏をとなえ続ければ、阿弥陀さまへの信心は自然と深まっていきます。



Jodo Mission of Hawaii  
1429 Makiki Street,  
Honolulu, HI 96814  
Address Service Requested

アロハ。平素より当院へのご支援ご厚情誠に有難うございます。特に、先月は、鯉のぼりセレブレーションやバザーの実施に、いろいろと御協力を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

約2年半ぶりのバザーは、大成功に終わり、今月も26日（日）午前中に実施することになりました。世界的に、新型コロナウイルスの感染は再び増加していますが、しっかりと感染対策を継続することで、安心、安全な法要、行事を実施していきたいと思えます。

実は、先月末、寺院スタッフの一人に咳などの症状があり陽性反応が判明。現在は完治していますが、発症する直前に食事を共にしたことから私たちもPCRテストを受けました。さすがにこの時ばかりは感染を覚悟しましたが、幸い結果はみな陰性でした。パンデミック以来、寺務所スタッフはマスクを着用していましたので、マスク着用の効用を改めて実感した次第です。最近あまり聞かなくなりましたが、3つのW 1. Wear a mask（マスク着用）、2. Watch distance（対人距離に気をつける）、3. Wash hands（手洗い）は、やはり感染対策の基本。引き続き実践していきたいと思えます。自分をまもることは、畢竟のところ、他人を守ることにつながります。コロナ禍におけるマスク着用は、仏教の利他の実践と言えるかもしれません。

さて、先週末、カウアイ島ホクアラ・リゾートで、ティンバーズ主催による初の灯籠流しが開催され、ブレッシング（祈りの詞）と司式の為、久しぶりにカウアイを訪れ滞在することとなりました。この新しいリゾートは、ジャック・ニクラス設計の美しいゴルフ場を擁するコンドミニウムで、リフエ空港とナウイリウイリ湾に隣接。パンデミックの状況もあり、コンドミニウムの住人や招待客限定のプライベートな式典となりました。ただ、将来的にメモリアル・デーに因んだ年中行事にしたいリゾートの意向もあり、小さな催しながらも大きな第一歩となったと思えます。

この灯籠流しは、もともと、コロア浄土院がククイウラ港で1970年代後半よりお盆の送り火として行ってきたもので、近年では毎年数百人が参加する地元の一大行事でした。しかしながら、メンバーの高齢化と環境への配慮を理由に2019年に継続中止を決定。とても残念であり、惜しいと思っていたところ、リゾートの広報担当の方より、浄土院とのコラボレーション（連携）で、ゴルフ場のラグーンで灯籠流しをはじめたいと打診があったのです。願ってもない申し出でした。二つ返事で引き受け、すぐに関係者と会う段取りとなりました。言うまでもなく、リゾート側の資金は潤沢で従業員も多く、寺院のように資金や労働力が不足ということもありません。人工のラグーンは、美しく、どの方角からも湖面を見渡すことができます。しかも、整備された歩道や芝生など安全に配慮している点においても、ここでの灯籠流しの成功、発展が目に見えました。以来、コロナ禍中ではありましたが、1年以上も会議を重ね、ついに灯籠流しを迎えることができたことに感慨深いものがありました。

勿論、すべてが順調に話が進んだ訳ではありません。当初は、お盆の行事としての灯籠流しを予定していましたが、今年に入り、メモリアル・デー連休の日曜日の開催へ変更となったり、仏教儀式の時間が大幅に短縮され、ハワイアンのカフ（司祭）によるプレ（祈り）の時間も設けられました。多様な文化が共存するハワイならではの発想で、祈りの前に、太鼓の演奏もプログラムの中に組み込まれました。私は素直に、皆が楽しめる素晴らしいプログラムに思いましたが、同時に、灯籠流しの主役から遠ざかったような寂しさも感じました。しかし、それ以上に、私たち浄土院が長年続けてきた伝統、レガシーである灯籠流しが、今後も引き継がれ行われていく可能性に私は大きな喜びと感謝、そして希望を感じました。

思うに、亡き人を悼む気持ちには、宗教を超越した普遍的なものがあります。その気持ちが形となって現れる灯籠流しも、やはり宗教や文化、時代を超えて、人をひきつけていくことと思えます。お盆もまた然りですね。先達から受け継いだお盆の伝統行事をスタッフ一同、真摯にそして全力で奉修してまいります。 合掌

## 2022年オアフ島お盆スケジュール（変更の可能性がありますので、各自ご確認下さい）

7月2日（土）	Moiliili Hongwanji's Bon Dance at Varsity Theatre Parking lot	5-10pm	Ph:(808)949-1659
7月9日（土）	Bon Dance at Waipahu Hongwanji	from 7:00pm. Service at 6:00pm	Ph:(808)677-4221
7月15、16日（金）（土）	Bon Dance at Honolulu Koboji Mission	at 7:00pm	Ph:(808)841-7033
7月16日（土）	Bon Dance at Waianae Hongwanji	at 7:00 pm	Ph:(808)677-4221
8月5、6日（金）（土）	Bon Dance at Shingon Mission of Hawaii	at 6:15 pm	Ph:(808)941-5663
8月5、6日（金）（土）	Bon Dance at Waipahu Soto Zen Temple	Taiyoji 7-10pm	Ph:(808)671-3103
8月12、13日（金）（土）	Bon Dance at Soto Mission of Aiea	-Taiheiji 6:30-10pm	Ph:(808)488-6794
8月19、20日（金）（土）	Bon Dance at Jodo Mission	6:30pm	Ph:(808)949-3995

## ハワイ浄土宗別院2022年（令和4年）お盆スケジュール

ハワイ浄土宗別院では、以下の日程でお盆法要の厳修を予定しております。新型コロナウイルスの感染が今も拡大している中、確約はできませんが、対面とオンライン（ZoomとYouTube）によるハイブリッド開催を予定しております。同時に、お盆の期間中、大塔婆への供物を受け付け、ホールを開放する予定です。訪問時間等の詳細は、7月号ブルテンに掲載いたします。新型コロナウイルスの感染状況によっては、予定を大幅に変更することもありますのでご了承ください。

- 7月17日（日）午前9時 **大掃除・大塔婆建て**（お手伝い・ボランティア歓迎です）  
7月18日（月）～7月21日（木） **プライベート盆法要**（ホール又は本堂にて大塔婆供養の個別法要を受け付けております。午前10時～午後1時、午後3時から午後6時まで。個別に法要をご希望の方は、お早めに寺務所（808-949-3995）までご予約をお願致します。参列人数に制限はありませんが、おおよその参加人数をお知らせください）  
7月22日（金）午前10時 **初盆・大施餓鬼法要**（\*初盆供養限定）  
7月22日（金）午後6時 **お盆・大施餓鬼法要**（大塔婆供養）  
7月23日（土）午前10時 **お盆・大施餓鬼法要**（大塔婆供養）  
7月23日（土）午後6時 **お盆・大施餓鬼法要**（大塔婆供養）  
7月24日（日）午前10時 **お盆・大施餓鬼法要**（大塔婆供養）・法要後・後片付けのボランティア歓迎です。  
8月19日・20日（金）（土） **盆ダンス 午後6時30分～午後10時まで**

\*7月22日（金）午前10時は、初盆供養のみを行います。今年初盆大塔婆を購入され、新盆を迎えられる家族の方々のみ参加可能ですのでご注意ください。なお、この時間に参加できない初盆のご家族は、他の時間帯でもご参加できますので、寺務所までお知らせください。**\*ボランティア募集**。大塔婆への供物を受付にあたり、ソーシャルホールへの入場整理などお手伝いを7月18日から24日まで募集しております。期間中、1、2時間でも結構ですので、お手伝い可能な方は、寺務所までお知らせくださいませ。

### ミニ・バザー 於）別院憩いホール（2022年6月26日午前8時より正午まで）

ハワイ浄土宗別院では、去る5月15日にミニ・バザーを2年ぶりに開催致しました。十分な告知もお知らせもできませんでした。大盛況に終わり、今月も引き続き上記の日程で開催することになりました。

なお、先月のバザーでは、別院バザーファンの女性は、なんと朝5時前より並んでおられるなど、人気は健在でした。ただ、従来のソーシャル・ホールではなく、憩いホールで開催していることから、今回もセール品は衣類を除くなど限定的です。スイレンなどプラントも販売予定です。バザーの準備は、前日の6月25日（土）午前9時より行います。事前に不用品を寄付下さる方、お手伝い可能な方は寺務所（808-949-3995）までご一報ください。（総監）

### 父の日特別法要：NHK「歴史探偵」の上映会（6月19日午前10時より）

今年の父の日の法要に、昨年12月に日本で放映された「NHK歴史探偵」を上映紹介致します。この歴史探偵は、歴史教養番組の一つで、歴史的な事件の真相に科学実験やグラフィックスなど新しい手法で迫る人気の番組です。ハワイ浄土宗別院も取材に協力したことからNHKよりDVDのコピーを頂きました。テーマは、真珠湾攻撃で、白黒フィルムをカラー化させることによって明らかになった事実の紹介などとても興味深い番組です。中でも、真珠湾攻撃以後、日本人捕虜第一号となった酒巻和男氏を取り上げ、捕虜となり絶望していた酒巻氏に生きる勇気を与えた人物として、ハワイ浄土宗第8代名護忍亮総長も紹介されています。当日は、日本語のナレーションに、英語字幕を加え上映致します。ぜひ、御参加ください。なお、ハワイ州には、現在、マスクの着用に関して法的義務はありませんが、別院では引き続き参拝者の方にマスク着用、検温、手指消毒などを願っております。ご協力の程よろしくお願い致します。（総監）

### 浄土宗宗歌「月影」について～ ハワイ浄土宗別院 高野明宏

#### ～月影のいたらぬ里はなけれども、ながむる人の心にぞすむ～

このお歌は法然上人のお歌であり、浄土宗の宗歌です。月影とは月の光、すなわち阿弥陀如来のお慈悲のみ光です。つまりこのお歌の意味は、「このみ光はあまねく一切の人々をお照らし下さるが、そのみ光をながめなければ、お慈悲に気づくことが出来ない。そのみ光に気づくことによって、はじめて阿弥陀様の慈悲が心に届き、心が清らかになる」という意味です。

例えば、親は常に子供のことを心配し、気にかけているものです。子供が助けを求めれば、必ず手を差し伸べます。私は学生時代、スノーボードをしており、よく怪我をしておりました。右の肩と、左の鎖骨を骨折して、二度手術をうけました。母親は遠方に住んでおりましたが、怪我の知らせを聞いて、手術の時には必ず私のもとに駆けつけて、見守ってくれていました。若かりしころのことを振り返ってみると、両親にはたくさん心配をかけました。そして、両親も常に私のことを気にかけて、心配してくれていました。このような親と子の関係は、阿弥陀様と私達との間にも云えるのです。

阿弥陀様は「わが名を呼べよ、必ず救うぞ」とお誓い下さり。「お願いだから救わせてくれ」と願いを掛けて下さっておるのです。その阿弥陀様の誓願に答えて、南無阿弥陀仏とお念仏をお称えすれば必ずや、苦しみ、迷い、悩み多き現世から喜び、楽しみ、幸せの世界、すなわち極楽浄土へと阿弥陀様がお救い下さるのです。

サンデーサービスにおいて月影を歌われる際は、上記のような意味が歌詞に込められていると認識して歌って頂けると幸いです。

合掌

## ハワイ仏教連盟主催メモリアル・デー記念法要

ハワイ仏教連盟では、メモリアル・デーのちょうど一週間前にあたる5月23日（月）午前9時30分より国立太平洋記念墓地にて、各宗総監・総長をはじめ代表者の参列のもと毎年恒例の追悼法要を厳修致しました。

Memorial Day（メモリアル・デー）とは、アメリカの代表的な祝日の一つで、毎年5月の最終月曜日に行なわれます。英語のメモリアルには、記念や追悼という意味があり、日本語では戦没者追悼記念日、戦没将兵追悼記念日と訳されています。もともと南北戦争の終結にあたって、勝者である北軍戦没者の顕彰を目的にはじまったものが、次第に追悼の対象を拡大。現在では、兵役中に亡くなったアメリカ軍すべての兵士を追悼する日として各地で盛大に追悼式が開催されています。特に、全米各地に点在する軍人墓地では、献花や合衆国旗の掲揚が行われることからデコレーション・デーとも呼ばれています。ハワイでは、色鮮やかなトロピカル・フラワーやレイが供えられることが多く、特に国立太平洋記念墓地では、ボーイスカウトやガールスカウトなどのボランティアにより3万基以上もの墓石の一つ一つにレイが献花されています。

国立太平洋記念墓地は、かつての火山の噴火口（クレーター）にできた高台に作られた墓地で、ハワイでは通称パンチボウルとして知られています。英語で、パンチボウルとは、フルーツ・パンチなどの飲み物を入れる半球状の容器で、墓地の噴火口がボウル（容器）のことからパンチボウルのニックネームがついたようです。ハワイ語の地名では、Puowaina（プオヴァイナ）と呼ばれています。意味には諸説あるようですが、歴史的にはここに神への生贄を捧げる祭壇があったことから、プオヴァイナは、Hill of Sacrifice（犠牲の丘）という意味が最も有力です。

さて、このパンチボウルには、主に太平洋戦争、朝鮮戦争、ベトナム戦争に戦役された兵士とその伴侶が永眠されていますが、日系人家族も実に多く、浄土宗寺院のメンバーの納骨もここで頻繁に行われています。また、日系人で初めての宇宙飛行士となり、1986年1月のスペースシャトル「チャレンジャー」事故の犠牲者となったエリソン・オズカ大佐やダニエル・イノウエ元上院議員もパンチボウルの墓地で永眠されています。

仏連の追悼法要は、30フィートもの巨大なレディー・コロンビア像の真裏に設置されているチャペルで開催。石川会長を導師に、各宗の代表が読経、焼香し、戦没者のみならずすべての戦争で亡くなられた方へささやかながらも真摯な祈りが手向けられました。（総監）

### カウアイ島便り～ハワイ浄土宗別院 田邊孝顕

ご存知のように、昨年末より高野先生と交代で隔月毎にカウアイ島へ出張しております。先月は、一か月ぶりに別院にて元気な皆さまにお会いできては「おかえりー！」と言って頂き嬉しかったのですが、あっという間にひと月が経過。今月は再びカパア浄土院に滞在しております。

さて今回、カウアイ島より穏やかな時間の過ごし方をご紹介します。それは必ず瞑想です。実は4月の出張の時にふと気になったので参加体験してきました。

そもそも浄土宗では公に瞑想は行いません。長らくブルテンを読まれてる皆さまならご存知のことかと思えます。浄土宗は専修念仏の教えで、瞑想をやらないからこそ、ますます興味がありました。

場所はカウアイ島のワイメア真言ミッションさん。平尾先生というお坊さんが護持されてます。実質1ヶ月に1回の満月の日に、瞑想会を開かれているそうです。4月は花まつり週間に開かれた特別な瞑想会でした。瞑想といえば、心を無にすることを目指すイメージが強いでしょう。しかし平尾先生の瞑想会の目的は、ありのままを受け入れること。そして大日如来さまを感じることにあります。大日如来さまとは、真言宗で崇拝されている仏さまで、万物の象徴、宇宙そのものだとも言われています。たとえばこのブルテンも草も木も、もつと言うと宇宙そのものが大日如来だとも言われています。

とはいえ、私もこれまで瞑想をしたことのない初心者です。まずはありのままから初めてみよう、腰を落ち着かせ、背筋を伸ばして足を組み、肩の力を抜く。最初は呼吸に意識を向けるのですが、なかなかうまくできません。それこそ徐々に姿勢も曲がり始めては修正の繰り返し。一方で時間も夕方だったので、「あ、いまお腹空いてるんだな」や、風が吹いたら「あ、気持ちいい風が吹いてるな」と、何気なかった日常や感情に気がつくことができました。さすがに大日如来さまを感じることは難しいですが、間違いないことだけは一つ。雑然とした心が落ち着きを取り戻す、そんな実感がありました。

浄土宗にはない瞑想。全面に押し出すことはできずとも、他の宗派のやり方が勉強になったことはもちろん、心を平穩にできる方法の一つを見つけられ、本当に参加してよかったなと思えます。南無阿弥陀仏のお念仏とはまた違う仏教のやり方を学んだ、そんなカウアイ島での体験でした。

合掌

### ハワイ浄土宗別院護持会メンバー加入へのお願い

別院では、他の仏教寺院同様、会員制（メンバーシップ）により寺院を運営しております。現在の年会費（同世帯の家族で）は、60ドル。特典として、総会への投票権、新年会等各種イベントへの招待状、月刊ブルテン（寺報）の送付、各種ホール・施設の使用（基本は有料ですが、法事での使用は無料となります）、納骨堂スペースの購入権利など。他宗では少なくとも年100ドル～400ドルしますので、大変お得な会費となっています。勿論、どんな様でも日曜礼拝など行事への御参加は大歓迎ですが、寺院活動存続のため、一人でも多くの方に会員になって頂けると有難く存じます。寺務所に会員申請書がございます。ご検討のほどよろしくお願ひ申し上げます。



石川広宣総監  
1997年8月～



高野明宏開教使  
2019年7月～



田邊孝顕開教使  
2021年10月～